

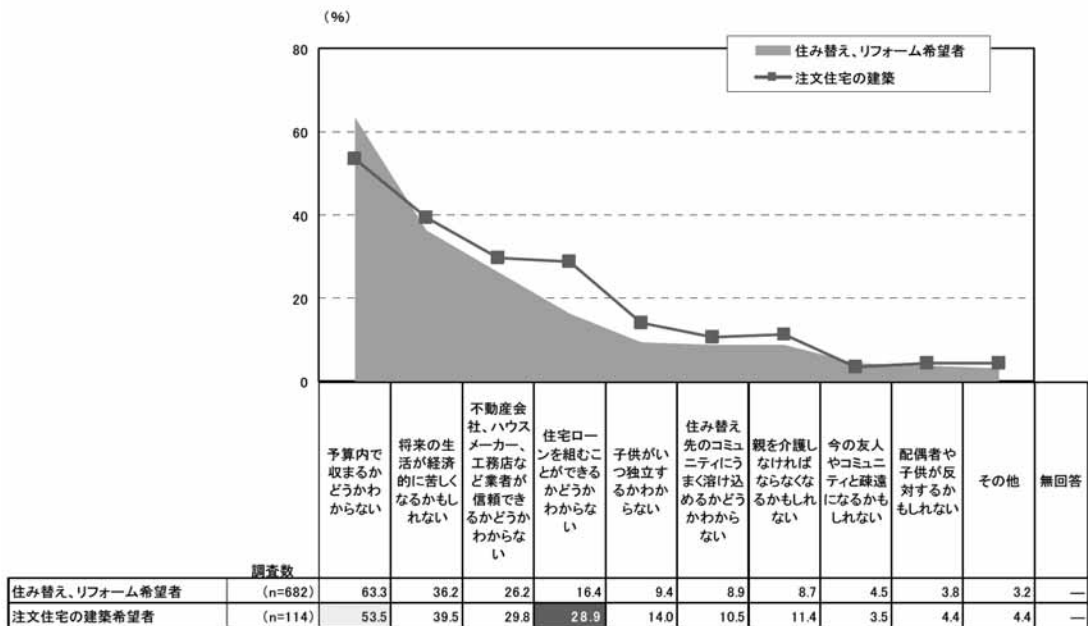
4 情報ニーズ

予算や購入後の生活への不安が強い

注文住宅購入希望者の不安要素をみると、トップは「予算内で収まるかどうか分からない」の54%で、以下は「将来の生活が経済的に苦しくなるかもしれない」「不動産会社、ハウスメーカー、工務店など業者が信頼できるかどうか分からない」「住宅ローンを組むことができるかどうか分からない」などが続いている。

「予算内で収まるかどうか分からない」はトップの不安ではあるが、全体傾向と比べると10ポイント程度低く、相対的に予算面の不安は小さそうである。

不安要素（住み替え・リフォーム希望者 / 複数回答）



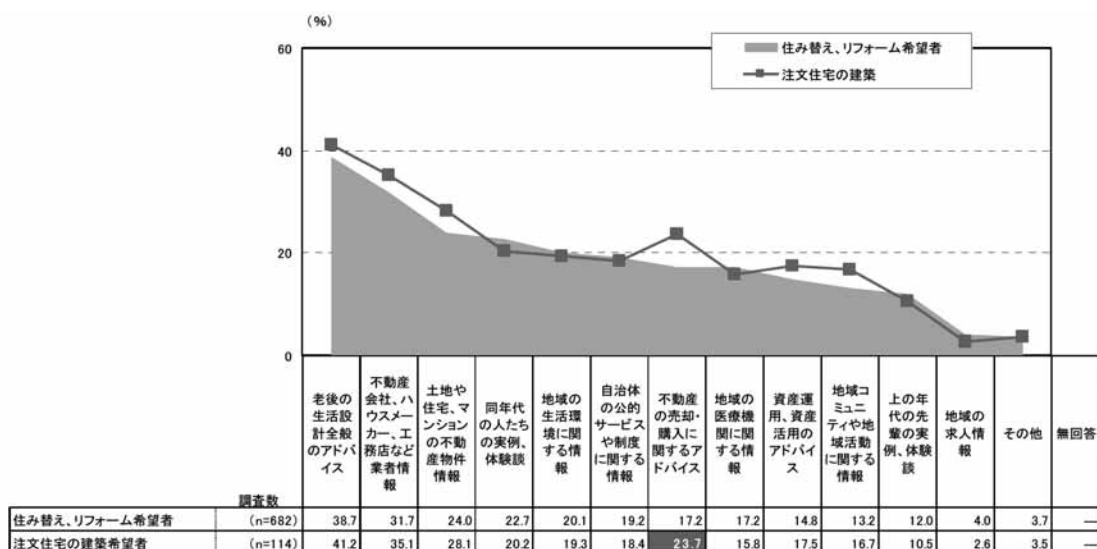
50.0 ……全体値より5ポイント以上高い
50.0 ……全体値より5ポイント以上低い (単位: %)

不安を解消するための情報を求めている

そうした不安に対して、どのような情報を求めているのかをみると、トップは「老後の生活全般のアドバイス」の41%で、これに「不動産会社、ハウスメーカー、工務店などの業者情報」「土地や住宅、マンションの不動産物件情報」「不動産の売却・購入に関するアドバイス」「同年代の人たちの実例、体験談」などが続いている。上にある価格や業者への不安などを解消できるような情報を求めていることがわかる。

ただ、ひとり当たりの必要な情報の選択数をみると、注文住宅建築希望者は2.5項目となり、新築一戸建て購入希望者の3.6項目に比べて少なめである。

必要な情報（住み替え・リフォーム希望者／複数回答）



50.0 ……全体値より5ポイント以上高い
50.0 ……全体値より5ポイント以上低い

(単位: %)

新聞、雑誌などの影響力も大きい

では、注文住宅建築希望者はどのような情報収集法を考えているのかをみると、最も多かったのは「不動産会社、ハウスメーカー、工務店などの業者のホームページ」の40%で、以下「インターネットの不動産情報サイト」「新聞記事」「建築雑誌、リフォーム雑誌」などが続いている。

この注文住宅建築希望者が情報収集法として挙げた項目数の平均は3.5項目で、新築一戸建て購入希望者の4.5項目よりやはり1項目少ない。上の求める情報にも共通する傾向だが、注文住宅建築希望者は、情報収集にさほど熱心とはいえない。

情報収集方法（住み替え・リフォーム希望者／複数回答）

